

❖団体名	(特活) ADRA Japan
❖ASC2012実施日	2015年2月6日

❖セルフチェック結果

指針項目	項目数	実現している項目数	実現していない項目数
組織運営基準	15	15	0
事業実施基準	11	11	0
会計基準	11	11	0
情報公開基準	4	4	0
<b>合計</b>	<b>41</b>	<b>41</b>	<b>0</b>

❖アカウントビリティへの考え方

すべてのステークホルダーに対して誠実に対応するためには、明確なビジョンに基づいた組織及び事業運営がまず必要であると考えます。加えて、積極的な情報公開により透明性を確保するとともに、組織内においてはアカウントビリティの必要性・重要性をスタッフの一人ひとりが認識することが重要であると考えています。

❖アカウントビリティ向上の取組み紹介

- 1) 中期計画に基づいた組織及び事業運営
- 2) 情報公開
- 3) 業務プロセスの文書化

❖上記取組みの実施状況

- 1) 2018年3月までの3か年にわたる中期計画に基づき、組織の安定性を確保できる収入構造を持ち、質の高い人材を適正に配置し、現地のニーズに速やかに対応した上で質の高い支援を行う団体になることを目指しています。
- 2) 紙面による活動紹介（ADRA News・季刊）、ホームページ、メルマガの配信、ブログの更新、Facebookでの情報発信、外部の情報共有サイトなどの活用により、積極的に情報発信を行っています。
- 3) スタッフが明確な指針に基づいて業務に携わることができるように、業務プロセスを明文化し共有しています（例：統一されたフォーマットによる事業報告や統一ルールに基づく文章の保存等による的確な情報共有。就業規則や会計規則等の随時見直しによる業務の効率化）。